

職務経歴書

氏名：長谷川 賢吾

《職務要約》

約20年間、テレビ番組制作に携わりディレクター業を行ってきました。番組制作の企画立案から、技術・美術・編集など様々なスタッフと連携しながらコミュニケーションを取りながらひとつひとつ作品を作りあげてきました。その経験を活かして起業後は発酵食品の魅力を伝える飲食店運営を行い、企画力でメニューに物語性を持たせ様々な賞を受賞したり、テレビ・新聞等のメディアにも数多く取り上げられました。

【職務経歴詳細】

□現在(直前)の勤務先

2011年05月～在籍中 株式会社かもし堂

・事業内容：フードサービス・飲食 従業員数：約10名

期間	主な職務内容
2011年05月～	<p>[直近の企業での経験職務]</p> <p>業種：フードサービス・飲食店 雇用形態：代表取締役</p> <p>2011年5月に起業し2012年1月に発酵食品に特化した飲食店「発酵蔵カフェかもし堂」をオープン。</p> <p>【担当業務(業務範囲、領域、ミッション)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営全般 ・店舗運営 ・商品開発・メニュー開発 ・イベント企画・運営 ・ワークショップの企画・開催 ・宣伝、広告の広報業務 ・人事全般(採用、育成) ・百貨店での催事出店 ・コラボ事業展開 <p>【ポイント(成果や実績、工夫)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアの取材多数 ・川崎市イメージアップ認定事業「発酵都市かわさきプロジェクト」立案 ・日本初の発酵の道の駅「道の駅発酵の里こうざき」の開発アドバイザー ・味噌のPRのために結婚相談所とコラボして「みそ婚活」を開催 ・にんべんとのコラボで子供向け「かつお節削り体験」を毎年開催 ・老舗和菓子店とコラボで糖分カットの「発酵おはぎ」の開発 <p>【受賞歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロケ弁コンテストグランプリ獲得「塩糍弁当」

- ・ファベックス弁当・惣菜グランプリ 健康・ヘルシー部門 優秀賞獲得「塩糀弁当」
- ・宮前 C 級グルメコンテストグランプリ獲得「おもい de ベジフルグラタン」
→地産地消の想いで地元の農家と市内の大学のゼミと企業の三位一体で新しい発酵食品のメ
ニュー開発プロジェクトを立ち上げグランプリを獲得
- ・かながわ商店街朝市グルメコンテスト入賞「ニンニク塩糀からあげ」

【実績】

起業してからは発酵の道のスペシャリストとしての地位を築き上げてきました。

発酵の権威、小泉武夫先生が代表を務めるNPO法人「発酵文化推進機構」の立ち上げから活動に携わり、同法人の認定資格「発酵ソムリエ」を保有しております。そうした知識を活かした発酵教室（味噌作り、塩糀作り、醤油糀作り、甘酒作り、鰹節削り体験など）や講演活動（発酵食の魅力、発酵で町興しなど）も数多く行ってきました。

また、日本初の発酵の道の駅「発酵の里こうざき」の開発アドバイザーとして、発酵食品の効果的な魅力の発信方法、発酵食品を使った商品開発、仕入れの商品選定などのコンサルティングも行ってきました。「発酵の里こうざき」は多くのメディアに取り上げられ年間来場者数は約 65 万人、売り上げは約 6 億 2800 万円という道の駅の中でも屈指の人気店となりました。こうした実績を踏まえ商品開発やマーケティング分野においても貢献できると考えます。

□以前の勤務先 1

2001 年 08 月～2011 年 05 月 フリーランス

・事業内容：放送・出版・映像・音響

期間	主な職務内容
2001 年 08 月～	<p>【経験職務】 業種：ディレクター、プロデューサー</p> <p>フリーランスのテレビ番組制作ディレクターとして、テレビ局各局の番組制作を行う。</p> <p>【担当業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ番組のディレクション ・テレビ番組のプロデュース ・企画立案 <p>【実績】</p> <p>主にゴールデンタイムの人気番組を多くかけもち、バラエティ、ドラマ、情報、ドキュメンタリー、音楽と幅広いジャンルの番組制作に携わる。 高視聴率を出すことが多く次々と仕事の依頼を受け掛け持ちで番組を担当。 NHK の元日 5 時間特番「万葉集への招待」ではスタッフ総勢 100 名を超す大型番組の総合演出として番組制作の全て取り仕切る。</p> <p>【代表作】 ディレクター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近未来×予測テレビ ジキル&ハイド（情報バラエティ） ・夢の扉（ドキュメンタリー） ・名作ドラマ&映画全て魅せます！SMAP PRESENYS ドラマの裏の本当のドラマ（特番）

<ul style="list-style-type: none"> ・東京カワイイ TV (情報) ・天才てれびくん MAX (子供番組) ・ぶらり途中下車の旅 (紀行) <p>監督</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたの涙そうそう物語 (ドキュメンタリードラマ) <p>演出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万葉集への招待 (教養) ・全員正解あたりまえ！クイズ (クイズバラエティ) ・ドスペ 天国への階段 (ドキュメンタリー)

【起業への経緯】

2008 年に爆笑問題が司会の「近未来×予測テレビ ジキル&ハイド」(朝日放送・毎週日曜 19:58~20:54) という番組で「発酵」を科学的に紐解く回の担当ディレクターとなり、当時、東京農業大学教授(現・名誉教授)で世界的な発酵学の権威である小泉武夫先生に監修・出演をお願いし出会ったことがきっかけとなりました。

番組の取材で全国の発酵蔵(醤油蔵・味噌蔵・酒蔵など)を巡り、日本の伝統的食文化である発酵の奥深さに完全に魅せられてしまいました。発酵の微生物の働きにこだわって丁寧に育てられた素晴らしい製品はどれも大変美味で健康効果も素晴らしいにも関わらず、欧米の食文化に押され発酵を中心とする和食文化の衰退と行く末に不安を感じ、日本の伝統的食文化の継承と発信ができたらと思い起業しました。

□以前の勤務先 2

1995 年 08 月~2001 年 06 月 テレコムスタッフ株式会社
 ・事業内容：放送・出版・映像・音響

期間	主な職務内容
1995 年 08 月~	<p>【経験職務】 業種：アシスタントディレクター ディレクター</p> <p>【担当業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ番組のアシスタントディレクター ・テレビ番組のディレクション ・企画立案 ・アシスタントディレクターの育成 <p>【実績】 テレビ番組制作 AD を経てディレクター業務を行う。 AD からディレクターへは平均 5~10 年かかるところ 3 年で昇格するスピード昇進。</p> <p>【代表作】 AD ・金之玉手箱 (音楽バラエティ) ディレクター ・世界痛快伝説！！運命のダダダダーン (情報クイズバラエティ) ・最終警告！たけしの本当は怖い家庭の医学 (医療バラエティ)</p>

<自己 PR>

商品の認知度拡大の為にメディアを使うことに関しては、20年以上の経験を活かせると思っております。ディレクター時代の仕事の中にはテレビ局の営業や広告代理店と共にスポンサーメーカーのインフォーマーシャルの作成経験も多くあり、その後起業して自身の扱う商品の販路拡大の為に、数々のマーケティング戦略を実行したことから、まさに双方の立場での経験は大きな武器になると考えております。また局との営業ネットワークを使いメディア戦略を拡充することも可能かと思えます。

中でも商品に物語性を持たせることでメディアが取り上げやすい戦略を立て、単なる商品の宣伝だけで終わらないストーリー性や、それに付随するようなイベントやワークショップを展開し認知度や売上の拡大を行ってきました。おかげで10坪ほどの小さな店舗ですが延べ100件を超すメディアに毎月のように掲載されてきました。

<発酵食品・健康食品関連の人脈>

発酵食品や健康食品関連の人脈は全国的に構築しております。

「全国発酵のまちづくりネットワーク協議会」及びNPO法人「発酵文化推進機構」のメンバーとして名を連ね、発酵産業に携わる全国の多くの仲間と活動を共にしてきました。こうした人脈を活かした新業態の開発にも貢献できるのではないかと考えております。

<プロデューサー、経営者としての人的 / 予算等を意識した数字マネジメント>

テレビ制作のディレクターは映画で言う監督であり、美術・技術・出演者・制作・メイクなど実に様々なスタッフと意思統一を図り連携し、ひとつの作品を作り上げていくためコミュニケーションは不可欠であり、かつ良い物を作るには特に重要なものですのでチームをまとめ上げる能力には自身がございます。

起業後の社長として経営のモットーは「日々挑戦」。経営には人を強くすること、失敗を恐れず挑戦し成長していける環境を生み出すことが大切ですので、自身が常にアンテナを張って新しいことに挑戦する姿勢を見せるようにし、挑戦の中で部下を育て、結果を得ることで自信へつなげることのフォローを心がける指導を心がけてきました。

テレビ番組制作では限られた制作費の中でいかにクオリティの高い番組を作るかが重要です。私が入社した当時はバブルがはじけた後で制作費が半分や3分の1ほどにまでカットされる番組もあり、その中でタイアップを獲得しスポットでスポンサーを見つけることで対応するなど様々な手法を学びました。

起業後はそうした経験を活かし自分たちだけでは金銭的にも事業規模的にも成し得ないようなイベントや事業を他社とのコラボや共同開発を行い実現させてきました。そうしたアイデア勝負には自信があり、そこが私の強みだと自負しております。

以上